

起動パラメーターファイル (*.xdnp) の作成

このファイルを直接ダブルクリックすると指定されている CSV ファイル等のデータファイルやデータ抽出条件ファイル (*.ecox) とテンプレートファイル (*.dtmx) を同時に読み込み、クライアントを起動します。

利用者は、各ファイルの所在を意識せず、必要な情報を読み込むことができます。売上確認用、在庫確認用など目的別に作成しておく便利です。

クライアントツールのファイルメニューから、「パラメーターファイル...」を選択し、[パラメーターファイル設定]ダイアログを呼び出し、XDNP ファイルを作成します。

対象のデータファイル (*. csv/xdsf/ecox) とテンプレートファイル (*. dtmx) を指定します。テンプレートファイルの指定を省略することも可能です。

Personal 版は、ログイン情報は不要です。

パラメーターファイルを編集する場合は、ここから開き、編集後は右側にある[保存]をクリックし保存します。

名前をつけて、XDNP ファイルとして保存します。これをダブルクリックまたはDataNature クライアントのショートカットヘッドラッグ&ドロップして起動すると、指定したデータファイルとテンプレートファイルを自動的に読み込みます。

サンプル.xdnp

品名	単位	CS	KS	2K	9	1,490,000	317,200
エアコン(冷・暖房)	H電機	CU-G18KS	11	1,208,900	259,050		
アイロン	H電機	DNI-R40	5	38,500	5,500		
液晶TV	T電機	TA-82HG1	5	1,608,000	298,000		
ブラウン管TV	T電機	16WV30	2	143,380	25,680		
ブラウン管TV	T電機	TA-20GV1	1	78,390	14,040		

他システムのメニューから起動する

下記のようにクライアントツールの実行形式ファイルと半角スペース一つ、XDNP ファイルのフルパスを引数として設定し、他のシステムのメニューから起動させることも可能です。

```
"C:\Program Files\DataNature Smart v4\Client\XDANAE.exe" 172.x.x.x G 共有受注確認.xdnp
```